

生産規模の拡大を見据えて
着々と前進していきたい



プロフィール Profile

あいしょうちょう やまがわら
愛荘町山川原
のうえん
たんぽぽ農園
まるおかとしき
代表 丸岡 俊貴さん(35)

主な生産作物

作物名	作付面積
水稻	10ha
野菜	3ha

(令和3年度)



▲以前に町の施設として使われていた倉庫を借り受け、「たんぽぽ農園」の拠点として活用しています。

地元の友人が集まり 「農業しよう！」

農業に興味や関心があった地元の友人が集まり、令和3年に「たんぽぽ農園」を立ち上げました。実家でかねてから農業の手伝いをしていましたことや、農業法人でのアルバイト経験があることなどから、私が代表を務めています。現在は4人のメンバーで互いに高め合いながら農業に取り組んでいます。野菜は加工用キャベツを出荷するほか、ジャガイモやニンニク、黒豆などをJA直売所に出荷しています。11月から12月にかけては、今年新たに挑戦している白ネギを出荷予定です。白ネギ栽培は、今後特に力を入れて取り組む計画をしています。店頭で見かけたら、ぜひお買い求めください。

失敗したからこそ見えてくるもの



▲米は主にJA出荷なので食べた人の声を直接聞くことはできませんが、食べる人の姿を想像しながら丁寧に育てています。

農業の楽しさを多くの人に

今後は、年間を通じた出荷体系の確立など、これまで培ってきた基盤の更なる向上を目指すとともに、米価下落に対応すべく始めた飼料用米の作付けや白ネギ栽培をはじめとする新品目にも取り組み、耕作放棄地の受託を中心に生産規模拡大を目指していきます。また将来的には、農業に興味を持つてもうかる人を増やし、雇用の創出や地域農業の維持・発展に結び付けていくようにしていきたいと考えています。まだまだ駆け出しの「たんぽぽ農園」ですが、多くの方に名前を覚えてもらえるようがんばります。どうぞよろしくお願ひいたします。



▲メンバーと一緒に白ネギの除草作業。各自が熱い思いを持って農業に取り組んでいます。

水稻栽培のこだわりは、やっぱり水管理で、鈴鹿山系から愛知川へ流れる美しい水を引き入れて作るお米はやはり特段おいしいと感じています。とは言つても、最初からおいしい米を作れたわけではありません。初めて自分で水稻栽培に挑戦した時は、放つておけば自然が勝手に稻を育ってくれると思つていたので、圃場は草だらけになり、収量が激減してしまったなど酷い目に遭いました。そのような失敗を経験したからこそ、学びを得て改善を繰り返すなど、やればやるだけ結果に付くところが農業の魅力だと強く感じています。



▲農機具は自分の相棒。大きな機械を使いこなすのも、農業の楽しさの一つです。